



編集・発行 湘南希望の郷
〒252-0825 藤沢市瀬郷 1003
TEL0466-48-4500

Index

■ ボッチャ体験ボランティアスクール …………… P1	■ イキイキチャレンジ・陶芸ボランティア …… P2
■ せせらぎ会・家族部会 …………… P3	■ 行事予定・編集後記 …………… P4

ボッチャ体験 ボランティアスクール開催



2月17日(土)、地域交流ホームかわうそ1階にて、横浜ボッチャ協会の皆様を講師にお迎えして、ボッチャ体験が行われました。

最初に、ルールの説明が行われ、参加者が総当たり戦での体験です。

赤チームと青チームが、白いボール(目標球・ジャックボール)に向けてそれぞれのボールを投げたり転がしたりして、最後にどちらが白いボールに近づけられるかを競います。ジャックボールが動いてしまった

り、思った通りにボールを投げられなかったり…。テレビで見て想像していたよりも難しく、いろいろな戦法があり、奥の深いスポーツでした。

今回のボランティアスクールは初の試みでの企画でしたが、湘南大庭公民館の男性学級の方達をはじめ、学生さんなど、募集枠いっぱいになるほどの一般参加を頂きました。参加者の中には、初めて障がいのある人とふれあったという方、コミュニケーションボードを使って話すのは初めてという方などがいらっしゃいましたが、皆さん積極的に住人さんと接しながら、ボッチャを楽しまれていました。アンケートをお願いするも、充分に楽しめたことと今後の関わりにも今回をきっかけに、ボランティア活動等への参加をしたいとの言葉をいただくなど、手ごたえを感じる一日となりました。

ボッチャとは、ヨーロッパで生まれた重度脳性まひ者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者の為に考案されたスポーツです。「パラリンピック」の公式種目で、2020年の東京パラリンピックではメダルが期待されている注目の競技です。以前から、利用者さんの中でも関心が高かった競技ということもあり、住人さんも一緒に参加しました。



イキイキチャレンジ発表大会

2月17日イキイキチャレンジ発表大会が行われました。

今年度の湘南希望の郷のテーマは「食事支援のあり方プロジェクト」です。

近年湘南希望の郷の入居者さんの平均年齢は57歳となり、76%の方が50歳以上です。加齢とともに身体障害の重度化も顕著に表れてきており、その中で着目した咀嚼・嚥下機能の低下は、大きな課題ととらえて、職員の意識と技術の向上により少しでも安全な食事支援をめざし、いつまでも笑顔で過ごせることを目的にこのプロジェクトが発足されました。

食事形態は常食・一口大・荒刻み・極刻み・ミキサーと5種類ありますが、ここ2年間の間に8名の方が食事形態を低下させている実態と、誤嚥性肺炎での入院をする方が増加傾向にあることを踏まえて、管理栄養士・看護・理療・介護職員と他職種が協力して取り組みます。次年度よりソフト食の導入を目指しますが、まずは基本に立ち返り、しっかり学び日々の支援に役立てたい、そんな思いを形にし実行する、このチャレンジに「特別賞」をいただきました。



リソフト食の導入を目指しますが、まずは基本に立ち返り、しっかり学び日々の支援に役立てたい、そんな思いを形にし実行する、このチャレンジに「特別賞」をいただきました。

陶芸ボランティアトリオさん

陶芸教室の木曜日の午後の佐藤さん、今村さん、小菅さんのトリオは、かれこれ17年程ボランティアとして活躍してくれています。ボランティアセンターのご紹介で、当初はまるっきりの素人さんだったとのことですが、多くの方がハンディにもめげず立派な陶芸作品を創作される姿に、いつも元気と勇気をもらって、また自分の大きな楽しみともなって、ここまでやって来れましたと話されます。



さて、ボランティアさんのお仕事は？まず、利用者さん達のエプロン等をつける身支度から始まります。そして、一人一人の進行に合わせて、相談をしたり、粘土をこねたり、ろくろをまわしたり、色付けを手伝ったりしていくのですが、本焼きし出来上がった作品の出来具合と一緒に喜び感動しあうことが最高の醍醐味で、また次の作品は、と利用者さんと共に創作意欲満々となるわけです。



心と身体共に健康を維持できていることと、本を片手に作品の構想を練ったり、微妙な色具合に一喜一憂したり、定年後家庭に入っただけでは味わえない楽しさを経験させて頂いていることなど感謝の言葉をたくさんお話し下さいました。こんな心温かいボランティアさんに改めてこちらも大きな感謝をしたいと思います。

<ご案内> 石原生美夫さんの個展が開催されます。ぜひお立ち寄り下さいますようお願いいたします。

石原生美夫展 一いのちの輝きを求めて一

開催期間 3月5日(月)～3月30日(金)

会場 かわうそギャラリー

共催 □と手で描く芸術家協会

ゴーズガーデン(郷'庭)の早春



◆せせらぎ会だより◆

イムジン河 水清く滔々と流る



韓国で開催された、冬季五輪の熱戦が連日報道された2月。同時期、全国的なインフルエンザの大流行に、右に左に振りまわされた日常。国内の患者数が、1200万人(2月10日現在)を記録した猛威の中、施設では、即応の水際対策が功を奏して、インフルエンザの感染を最小限に食い止め、ひとまず大きな峠を越えて3月を迎えました。ここしばらくは、三寒四温のつづく季節の変わり目、まだまだ気をゆるめ

る訳には行きません。平昌(ピョンチャン)では、引き続き冬季パラリンピックが開催されます。パラリンピックのシンボルマークは、青・赤・緑の三色の曲線が躍動する「スリー・アギトス」。アギトスとはラテン語で「私は動く」、との意義が込められている。アスリートに限らず失敗や挫折をバネにして、挑戦を続ける人生にエールをおくります。

年度末、何かと選択を迫られる時節。汝自身の花を咲かせる「目標」と、同時に周囲の人を笑顔にする「目的」の種まく人には、自他共に明るい未来(あした)が待っています。4日は、恒例の春を呼ぶ「エンジェルズ・コンサート」が開催されます。

文責・自治会(K.I)

◆湘南希望の郷 家族部会の皆さまへ◆

家族部会長 眞鍋 直規

漂う梅の香が近づく春を感じさせてくれます。2/5の定例会では「意志決定支援」について、地域支援部長松井様より、考えるきっかけを作っていただきました。障害を感じておられる方が、どのくらい人間の権利を行使できているか。できていない方にこそ意思決定支援が必要になってきます(合理的配慮)。家族の関わりがとても大切です。ここにも春の訪れが待たれるところです。3/4エンジェルズコンサート、3/6ロータリーふれあいコンサートを用意して下さっています。楽しいひとときを過ごす権利の行使と考えれば、家族も応援しないわけにはいきません。3/5の定例会では、家族部会の在り方について考えます。次期代議員、是非立候補ください。

※3月～4月行事予定>

◇3月5日(月) 10:30～12:00

家族部会2017年度第6回定例会。ライフ湘南2階。

◇4月9日(月) 11:00～12:30

引地川親水公園にてお花見と懇親会(会費1,000円)。申込受付中。

冬のチャレンジ 氷の剣と盾

今年の寒さは氷の出来をたいそう立派なものにしてくれたので、氷の剣と盾をつくってみることに。外階段の水の溜まった手すりに棒を挿してガチガチになったらスッポ抜く。どうだ！見事な剣が！と言いたかったのに、ボキボキと折れてしまつて、アー残念。メダカの鉢で準備した盾もダメでした。朝から大笑いの東側通路でした。



加茂さんの作品

加茂さんは紙が大好きです。そして塗り絵も大好き。

いろんな色のペンでたくさん丸を描き、紙を丸く切り抜き、丸い紙皿に貼りつけ、素敵な作品に仕上げてくださいました。

丸がいっぱいなので、タイトルは「まる。」です。



「今日は天気がいいですね。」「富士山が綺麗に見えますね。」散歩は隔週水曜日の午前中で天気の良い日に行っています。なるべく多くの住人さんとお外の散歩へ行きたいので、一人あたりの時間は短くなってしまいますが、清々しい空気に触れて気分転換を図っています。田んぼや林など自然いっぱい



サンポ 散歩 さんぽ



の瀬郷を五感で感じ、みなさんの表情が次第にリラックスしやわらかい笑顔に変化していくのを職員も嬉しく思いながら一緒に楽しんで歩きます。

◆ 3月の予定 ◆



健康課より

- 藤沢市歯科医師会ブラッシング指導 1日(木)
- 御所見病院 山内Dr.来診 14日(水) 28日(水)
- 厚誠会歯科 来診 6日(火) 13日(火) 20日(火) 27日(火)

行事

- エンジェルズコンサート …… 4日(日)
- ロータリーふれあいコンサート … 6日(火)
- ふじさわボッチャ競技大会 …… 10日(土)
- R V 体育館練習 …… 14日(水)
- R V ぱっする杯 …… 17日(土)

衣類が不足しています

湘南希望の郷では、衣類(Tシャツ・トレーナー)が不足しています。ご家庭に不要な衣類が有りましたら、生活課までご連絡をお願いします。ご協力を宜しくお願いします。担当 下條・田中 (0466-48-4500)



今年は例年のない寒波の襲来で毎日寒い日が続いていますが、立春も過ぎると梅の花が急に咲き始めました。やはり春ですね。巷ではインフルエンザが大流行してしまいましたが、皆で春の息吹を感じて、少しでも早く元気になれる様にと思っています。(R.H)